

令和5年度事業報告書

概要

世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染症分類が5類に移行し、世間では感染拡大前の生活に戻りつつあった年でした。しかし、介護、福祉、医療の面ではまだまだ、感染対策や感染者の対応が続いています。にじの郷でも10月に特養ユニットで新型コロナウイルス感染症が発生、入所者、職員が感染し対応に追われました。またインフルエンザの流行も早く、入所者、利用者、そして職員自身も健康管理に注意し業務にあたりました。

施設運営では、利用者拡大、職員募集を目的にホームページの刷新、SNSの導入を行い広くにじの郷を知ってもらう取り組みを実施しました。特養への入所申し込みは定期的にあるものの、待機者数は開設間もないころと比較すると減少傾向にあります。ショートステイは週末の利用に集中することも多いため引き続き1週間を通して稼働率を安定させる工夫が必要です。SNSの活用は面会や施設見学を制限せざるを得ないなか施設の近況を知らせる役割を担っています。

経営面では、特別養護老人ホームの入所数は安定しています。入所者の高齢化と一緒に介護度も上がっています。利用率は92.9%で、前年度の93.5%からは若干低下1日あたりの利用単価は平均で15,656円でした。ショートステイは、コロナ禍からの利用控えがまだ影響していること、職員体制が充足できないことが重なり利用率は68.0%と低い結果となりました。ショートステイの利用傾向としては週末の利用希望が多く、やむを得ずお断りする場面もありました。思うように収益が確保できないことが経営に大きく影響しています。

求人活動は年間を通してハローワークへ求人票を掲載しているものの反応は薄く、紹介会社に頼らざるを得ない状況にありました。結果として紹介手数料の経費負担が増加しました。高等学校訪問や就職説明会への参加、独自に説明会を企画し求人活動を行いました。一方、職員育成の面から職員教育マニュアル「つながる」を作成導入しました。福利厚生の一環として12月に勤続5年以上の職員を対象に永年勤続表彰を実施、半数以上の職員に記念品を贈呈しました。

事業実績

1 評議員会、理事会及び運営推進委員会の開催状況

(1) 評議員会

定時評議員会 令和5年6月16日開催

第2回評議員会 令和6年3月29日開催

(2) 理事会

- 第1回理事会 令和5年5月31日開催
- 第2回理事会 令和5年6月16日開催
- 第3回理事会 令和5年9月26日開催
- 第4回理事会 令和5年11月17日開催
- 第5回理事会 令和6年3月15日開催

(3) 運営推進会議

- 令和5年5月16日開催、令和5年7月18日開催、令和5年9月19日開催
- 令和5年11月21日開催、令和6年1月16日開催、令和6年3月19日開催

2 地域密着型特別養護老人ホーム

(1) 事業指定 平成29年12月20日 3ユニット定員合計29名

(2) 入居開始日 平成29年12月20日

(3) 入所検討委員会

- 令和5年5月24日開催、令和5年8月23日開催、令和5年11月24日開催
- 令和6年2月16日開催

(4) 利用者人数

実利用者数計 36人 (入所者数 8人、退所者数 7人)

延べ利用日数 9,857日 利用率 92.9%

(5) 要介護度及び年齢 (令和6年3月31日現在)

要介護3 0人、要介護4 13人、要介護5 16人

最年少 73歳、最高齢 103歳、平均 88.9歳

(6) 待機者数 (令和6年3月31日現在)

71名

3 ショートステイ

(1) 事業指定 平成30年1月1日 1ユニット定員合計10名

平成30年7月1日 2ユニット定員合計20名

(2) 利用開始日 平成30年2月22日

(3) 利用者数等

実利用者数計 104人

延べ利用日数 7,320日 利用率 68.0%

1回平均利用日数 8.0日

(4) 要介護度及び年齢

要支援1 1人、要支援2 3人、要介護1 21人、要介護2 31人

要介護3 33人、要介護4 25人、要介護5 16人

最年少 73歳、最高齢 102歳、平均 89歳

4 寄附金

延べ 70件 合計金額 1,093,075円